入院のご案内

医療法人 渓仁会
札幌渓仁会リハビリテーション病院

◎ 病院理念

親 切　　信 頼　　進 取

わたしたちは医療を通じて、ずーっと地域とそこでくらす人を支えます。

◎ 病院基本方針

1．安心、安全で根拠に基づいた質の高い医療を実践します。
2．自立、自律を尊重したリハビリテーション・ケアを提供します。
3．在宅での生活と街づくりを支援し地域社会に貢献します。
4．優れた職業能力を持ち人間性豊かな人材を育成します。

◎ 患者さんの権利

1．私たちは、疾病や障害にかかわらず、良質な医療・リハビリテーション・ケアを提供いたします。
2．私たちは、診断・検査・治療・リハビリテーション等についてわかりやすい言葉や方法で説明いたします。
3．私たちは、患者さんが治療内容について他の医療機関、医師の意見（セカンドオピニオン）を求められた場合、意向を尊重し支援いたします。
4．私たちは、患者さんがご自分の診療記録の開示を求められた場合、公開いたします。
5．私たちは、医療行為上知り得た個人情報やプライバシーをお守りいたします。

◎ 患者さんにお守りいただきたいこと

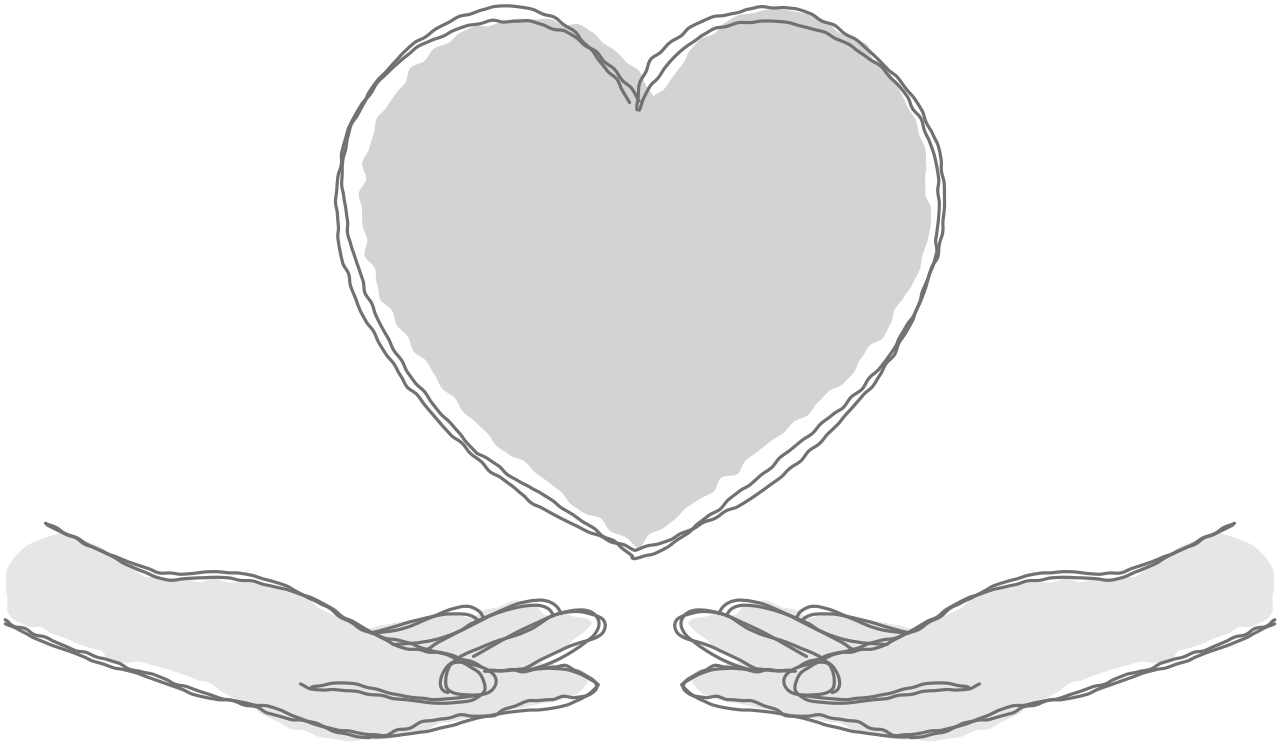
1．院内には多数の患者さんがいらっしゃいます。お互いに安心して療養できる環境を守るようにご協力ください。
2．医学的に判断し治療が不必要と考えられる場合には、受診・入院をお断りする場合がございます。
3．診療・看護上の支援は全職員でベストを尽くしますが、それを逸脱した要求に関しては対応いたしかねます。
4．院内での喫煙・飲酒・暴力等で他の患者さんや職員への迷惑行為をされる方には即刻院内から退去していただきます。
5．当院は全職員に対しての金品等の謝礼をご遠慮させていただいております。

◎ チーム医療について

当院のチーム医療はスタッフだけでなく患者さん､ご家族にも参加していただきます。全員で共通の目標を立てて、それに向かう適切な方法を検討し、２４時間の病棟生活でリハビリテーションを実践しています。情報の共有、目標の共有から始まり、入院時から退院までの個別の退院支援計画を作成し、患者さんを中心とした有機的につながったチーム医療を心がけております。全職種共通の制服もチームとしての一体感を大切にしたものです。

病棟は病棟マネージャーのもとに全職種が一体となって組織化されております。職種ごとではなく、多職種が緊密な連携をもちながらチームを作り、患者さんを中心にまとまれるように工夫を凝らしております。病棟ではきっといきいきとしたチーム医療を体感できると思います。

また、リハビリテーション室で学習した動作を日常の病棟生活に汎化して学習強化を図り、より確実な動作に仕上げていきます。そのためには、チーム医療は欠かせません。情報交換のためのカンファレンスを重ね、各自が患者さんの目標に向かって何をしなければならないかを常に考え、一体感をもってリハビリテーションサービスを提供していきます。



◎ 回復期リハビリテーション病棟について

回復期リハビリテーション病棟は脳血管疾患や大腿骨頚部骨折、廃用症候群等の患者さんに対して日常生活動作能力の向上による寝たきり防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーション計画を医師、看護師、介護福祉士、ケアワーカー、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士、歯科衛生士、ソーシャルワーカー等が共同で作成し、これに基づくリハビリテーションを集中的に行うための病棟です。

入院期間は、疾病や傷病名によって日数が定められています。脳梗塞や脳出血などは１５０日以内、高次脳機能障害を伴った重症の脳血管障害は１８０日以内、大腿骨頚部骨折、廃用症候群は９０日以内、股関節・膝関節などの神経、筋や靱帯の損傷は６０日以内となっています。実際には患者さんの状態等により、お一人おひとりの症状にあわせた入院期間を提案いたします。

入院後の予定

入　院

回復期リハビリテーション病棟は、３６５日、土曜、日曜もリハビリテーションが提供できる体制をとっております。

↓

医　師　の　診　察

↓

入院時合同評価

たくさんのスタッフが患者さんの生活動作を観察します。少し圧迫感を感じることもありますが、ご了承ください。

↓

リハビリテーション開始

患者さんの状況に応じ適切に時間配分させていただいており、担当者が不在の場合は他のスタッフが代行してリハビリを行います。また、リハビリ室での自主トレーニングについて、スタッフ不在時のマシントレーニングの利用は安全上ご遠慮ください。

↓

定期的なカンファレンス

毎月、カンファレンスが行われ、医師、スタッフから説明があります。ご家族には日頃より情報交換の機会をいただければと思いますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

↓

退院に向けての取り組み

患者さんの状況に応じ、退院前に患者さんとの自宅訪問、外出訓練があります。

↓

退　院

↓

フォローアップ

当院から自宅、居宅施設等に退院される患者さんには、退院後の状態を確認させていただくことがあります。退院一か月後に栄養、食事摂取状況を電話等で確認させていただきます。

◎ 入院当日の予定

入院当日は様々な健康状態、リハビリテーションの評価があります。患者さんご家族にはお時間をいただいておりますので、よろしくお願いいたします。

ご来院	
⇩	
入院手続き	病院１階の『受付窓口』へ、本日入院される旨を申し出ください。 ※車椅子、お荷物などお手伝いが必要な際はお知らせください。
⇩	
入院病棟へ移動	病棟窓口へお声がけいただき、各種保険証などのご提出をお願いいたします。（ご提出いただくものは「持ちもの」の項目をご覧ください） ※リストバンドを装着いただきます。
⇩	
医師の診察 患者さんの状態評価	医師及び担当スタッフが、患者さんの健康状態について様々な評価を実施いたします。
⇩	
医師及び担当スタッフからの説明	評価を踏まえて、患者さんの入院生活における治療計画を立て、内容をご説明いたします。 ※計画に対する同意・署名をいただきます。
⇩	
入院治療の開始	

◎ 入院当日のお持ちいただくもの

◇ 病棟窓口へお持ちいただくもの

・入院申込書　・同意書類　・健康保険証　・前医（転院前の病院）の領収書

● 以下はお持ちの方のみご持参ください。

・限度額適用認定証、各種医療証（特定疾患医療受給者証、後期高齢者医療被保険者証、重度心身障害者医療費受給者証など）

・介護保険被保険者証　・身体障害者手帳　・退院証明書　・当院の診察券

◇ 病棟へお持ちいただくもの

・服（リハビリをするため動きやすいもの）　・パジャマ（有料レンタルの病衣でも可）

・下着（患者さんの状態にあわせてお持ちください）

・靴（運動靴などリハビリにも使用できるもの）　・シャンプー

・ボディーソープ　・歯ブラシ　・歯みがき粉　・コップ（歯みがき、飲水用）

・はし、スプーン、フォーク類　・ティッシュペーパー　・イヤホン（テレビ用）

・電気ひげ剃り（必要な方）　・オムツ、おしりふき（必要な方）

・お薬とお薬手帳（お持ちの方のみ）

・病院から渡された封書（診療情報提供書、看護情報書など）

◇ 持ちものに関する注意事項

・持ちものには名前の記入をお願いします。
・果物ナイフやはさみ等、鋭利な物の持ち込みはご遠慮ください。
・男性の患者さんには、カミソリではなく電気髭剃りの準備をお願いします。
・お持ち込みの現金等は当院ではお預かりできませんので、カギの付いた引き出しで保管するなど自己管理をお願いします。万一盗難が発生しましても責任は負いかねますのでご了承ください。
・携帯電話、携帯ゲーム機器類、パソコンの２２：００以降の使用はご遠慮ください。
・病棟でご用意するオムツやパットは有料となりますので、ご了承ください。

＜病棟受付へお持ちいただくもの　チェック表＞　チェックした場合は○をご記入ください。

	入院申込書		同意書類
	健康保険証		前医（転院前の病院）の領収書
以下はお持ちの方のみ			
	限度額適用認定証		介護保険被保険者証
	身体障害者手帳		退院証明書
	当院の診察券		
	各種医療証（特定疾患医療受給者証、後期高齢者医療被保険者証、重度心身障害者医療費受給者証など）		

＜病棟へお持ちいただくもの　チェック表＞　　チェックした場合は○をご記入ください。

	リハビリ用の動きやすい服		はし・スプーン・フォーク類
	パジャマ（病院の病衣でも可）		ティッシュペーパー
	下着（患者さんの状態に合わせて）		イヤホン（テレビ用）
	靴（運動靴）		電気ひげ剃り（必要な方）
	シャンプー		オムツ・おしりふき（必要な方）
	ボディーソープ（又は石鹸）		お薬とお薬手帳（お持ちの方）
	歯ブラシ・歯みがき粉		病院から渡された封筒・書類
	コップ（歯みがき用・飲水用）		

◎ 入院生活について

● 患者さんの日課について

６：００　起床、洗面、更衣
・１日の生活に向けて、可能な限りパジャマから服に着替えていただいております。
・洗面は洗面所で、口腔ケアは毎食後いたします。

７：３０　朝食
・食事もリハビリの一環として、できるだけ食堂でとっていただいております。

８：５５～９：１５　まるべりぃ体操
・患者さん、職員、全員で毎朝行う体操です。椅子や車いすから立ち上がることで、筋力、持久力、立位バランスの向上をはかります。

午前のリハビリテーション、入浴
・患者さんの症状に応じたリハビリテーションを行います。場所は２階リハビリテーションセンターや各病棟のリハビリテーション室などです。
・入浴は患者さんの状態に応じて、様々な浴槽をご用意しております。

１１：５０～１２：００　嚥下体操
・食事前に口や舌、のどを動かすことで、飲みこみやすく、食べやすくするための体操です。のどつまりや、食べ物が気管に入ってしまわないように予防する効果があります。

１２：００　昼食
・選択食の昼食を週３回提供し､毎週水曜日の昼食には焼きたてパンをお出しします。
・行事を取り入れた食事を提供することで、入院中でも季節感や楽しみをもっていただけるような工夫をします。

午後のリハビリテーション、入浴
・リハビリテーション以外の時間も、なるべくベッドから離れて活動していただきます。
・摂食、嚥下障害のある患者さんはお部屋で言語療法士が食事介助を行いながら、リハビリテーションを行う場合があります。

１８：００　夕食
・お一人おひとりの状態にあった食事形態を提供させていただきます。

１９：３０　更衣
・就寝に向けてパジャマに着替えていただきます。

２２：００　消灯

● お薬

・持参された内服薬は継続させていただきます。
・当院に採用されていない薬については、同一成分、同一薬効のものを使用させていただきます。
・サプリメント等をお飲みの方は、事前にご相談ください。

● 禁煙、飲酒

・「健康増進法」に基づく受動喫煙防止対策の施行により、当院においても患者さんの医療環境を守るため、建物及び敷地内全面禁煙となっております。また、飲酒につきましてもご遠慮いただいておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

● 医療安全

・入院中は、患者さんがご本人であることを確認させていただくために、リストバンドを装着していただきます。
また、診察や処置、検査の際にご本人の氏名をフルネームで名乗っていただくこともございます。
・無断で病院を離れてしまうような徘徊が著しい場合や、患者さんの状況によって、動きがわかるようにセンサーをベッドや車いすに設置することがあります。使用する際はスタッフより十分に説明をさせていただきます。

● 感染予防

・病室入退室時には、入口に設置してある消毒薬で手指の消毒をお願いします。
・感染予防のためにマスクの着用をお願いする場合がございますので、その際はご協力をお願いします。ただし、入口に設置しているマスクは医療スタッフ用のため、１階のマスク自動販売機や売店などでお買い求めください。

● 病棟、病室変更

・治療等のために病室を移動していただくこともありますので、ご協力をお願いします。
・患者さんの病状や安全のため、ご家族に連絡なく、お部屋を移動する場合があります。治療上必要な移動となりますのでご了承ください。

● 外出、外泊

・外出や外泊を希望される場合は、主治医の許可が必要です。原則、月に４泊（１泊を４回まで。連泊の最大は２泊３日）までとなります。ご希望の方はスタッフにお申し出ください。

● 面会

・面会時間は１１：００～２０：００です。他の患者さんのご迷惑にならないようにご配慮ください。
・正面玄関及び各階エレベーターホールの施錠時間は２０：００～翌８：００となります。
・当院では原則として付き添いの必要はございませんが、病状その他の理由でご家族の付き添いを希望される場合はスタッフへご相談ください。
・ご家族が患者さんの付き添いを希望され、医師が許可した場合、有料で付き添い用ベッドをご用意できますので、スタッフにご相談ください。

● お食事

・食事時間は朝７：３０　昼１２：００　夕１８：００です。
・患者さんの中には、食事や飲水に制限のある方、ムセを生じるため水分にトロミを付ける必要のある方がいらっしゃいます。食品や飲み物の差し入れをされる際には、スタッフにご相談ください。
・栄養士は患者さんの病状にあった食事を提供していますので、同室の方へのおすそわけはご遠慮ください。

● 冷蔵庫

・食材を保管する際には、賞味期限切れにご注意ください。

● テレビ

・多床室のテレビはカード式ですので、専用券売機にてご購入をお願いします。
・テレビをご覧になる場合は同室者に配慮して、イヤホンをご使用ください。
・消灯時間２２：００以降のテレビのご使用はご遠慮ください。

● 電化製品の持ち込み

・床頭台のコンセントはご自由にご使用ください。
・パソコンのご使用は可能ですが、Ｗｉ－Ｆｉ接続によるインターネットをご利用できる環境ではございません。
・電気毛布、電気湯たんぽ等、火傷の恐れのある物の持ち込みはご相談ください。
・加湿器の持ち込みは感染管理上、ご遠慮ください。
・持ち込みされた物に関し、万一故障や盗難が発生しましても責任は負いかねますのでご了承ください。

● コインランドリー

・全自動洗濯機、乾燥機を設置しており、操作手順やルールが洗濯室内に書かれていますので、ルールを守ってご使用願います。利用の際は、洗濯物の放置や忘れ物にご注意ください。
・コインランドリーで使用するカードは、テレビカードと共通のものになります。
・病室内に洗濯物を干すことはご遠慮ください。
・コインランドリー以外に有料でクリーニング業者に依頼することもできますので、スタッフにご相談ください。

● 郵便ポスト

・１階には患者さん用の郵便ポストをご用意しております。

● 他医療機関受診について

・入院中は当院主治医が治療を行います。入院中の他保険医療機関受診については、主治医の判断及び対診依頼（診療情報の提供）が必要となりますので、他保険医療機関の受診を希望される場合は主治医へご相談ください。また、主治医へのご相談なく他保険医療機関への受診を行った場合は、他医療機関での医療費全額を自己負担していただくこととなりますのでご注意ください。

● 転倒、転落及び専門病院への転院について

・入院生活は、これまで過ごしてきた環境とは異なります。また高齢の方は筋力や注意力が低下することで思いがけない転倒事故が起きることは少なくありません。また入院中リハビリテーションで運動能力が上がると、患者さん自身で活動する機会も増え、転倒転落の危険性が高まります。しかし、転倒転落を予防しようとすると、活動を制限することにもつながり、効果的なリハビリテーションを行うことができなくなります。当院では、患者さん、ご家族と協力しながら転倒転落の予防を行っていきます。詳細については入院後、医師から説明があります。

・高齢の方は加齢に伴い、心臓や肺の機能が低下するため、心不全、肺炎等の内科的合併症を起こしやすく、重症化する可能性があります。そのため様々な合併症が起きた場合は、専門の病院へ転院していただくことがあります。

● 生活上守っていただきたいこと

入院は、だれにとっても不安で苦痛なことです。それでも治療やリハビリを行わなくてはならない状況があります。よりよい、入院生活を送るために、以下のことについてご協力ください。

・マナーを守り節度ある行動をお願いします。特に携帯電話（スマートフォン）に係るトラブルが増えております。長時間多床室でお話をされる場合は１階ロビー、各病棟ラウンジをご使用ください。また、消灯後のスマートフォンからもれる明るさにも気遣いをお願いします。

・病院の敷地内は全て禁煙となっております。（電子タバコを含む）

・院内における写真および動画の撮影はご遠慮ください。

・売買行為や勧誘等は禁じております。

・機器設備や建物設備等を重大な過失により破損した場合は、弁償していただくことがあります。

・飲酒、暴力行為、大声、暴言、または脅迫的言動等は固く禁じます。場合によっては直ちに退院していただきます。

◎ 研修生、実習生の受け入れについて

当院は、将来の医療を担っていく学生（医学生、リハビリ学生、看護学生等）の臨床実習を受け入れております。患者さんのご了解の上で臨床実習をさせていただきますが、ご不明な点やご不満がございましたらお申し出ください。

◎ 臨床研究について

当院は、治療やリハビリ・ケアのよりよい質の向上のために、患者さんに臨床研究に参加をお願いすることがあります。その場合は、文書等によりご説明しご同意をお願いいたします。一方、臨床研究で得られた結果を公表する場合は、個人が特定できないように処理を行います。なお、臨床研究への参加は、患者さんの自由意志で決定でき、お断りになられても治療上不利益を受けることはありませんので、ご安心ください。

◎ 防災・防犯について

・入院時に病棟内の非常口等をご確認ください。
・非常時には、非常放送をよくお聞きいただき、スタッフの指示に従い、落ち着いて行動してください。
・非常時には、エレベーターはご使用にならないでください。
・火災を発見した時、不審者を見かけた場合、または不審物がありましたら、すぐにスタッフにお知らせください。
・防犯の都合上、貴重品の持ち込みはご遠慮願います。病棟でお預かりはしていません。自己管理でお願いします。
・入院中の持ち物等の紛失については、責任を負えません。

◎ 退院当日の予定

● 退院時間

・退院は原則として平日の午前中となっておりますので、ご協力をお願いします。

● 退院時のお支払い

・退院時のお支払いは、１階会計窓口でお願いします。

● 退院の手続き

・特にご退院時にご提出いただくものはございません。スタッフからの案内に従いご退院となります。

◎ 会計について

● 医療費等のご請求

・月々の医療費等のご請求は月末締めとし、翌月１０日頃までに“診療費請求書兼領収書”を直接お渡し、または郵送いたしますので、２０日までにお支払い願います。

● 退院時のご請求

・平日の日中に退院の場合は、当日に“診療費請求書兼領収書”を直接お渡しいたしますので、退院日当日にお支払いください。土日祝休日に退院の場合は、後日“診療費請求書兼領収書”を郵送いたしますので、お届けより１週間以内にお支払いください。

● お支払方法

・①現金支払　②クレジットカード支払　③銀行振込　をご利用いただけます。詳細については、請求書裏面の『医療費のお支払いについてのご案内』をご覧ください。
　※　銀行振込の場合は別途領収書を発行しておりません。領収書が必要な場合は、お手元にある“診療費請求書兼領収書”を会計窓口までご提示（またはご郵送）ください。
　※　院内にＡＴＭはございません。現金支払の場合は予めご準備ください。

● お支払い滞納時のご案内

・月々のご請求または退院時のご請求の支払期限を超えた場合は、身元引受人及び連帯保証人へ電話またはお手紙等でお支払いの督促を実施させていただきますので、速やかにお支払いください。
その後もお支払いがなく、支払いの意思がないと判断した場合は法的手続きを開始させていただきます。

● 領収書の取り扱い

・お支払い済みの領収書は所得税の医療費控除を申告する際などに必要です。
・領収書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
※　医療費控除の申告用として「支払い証明書」の発行は可能です。（有料）

● 保険証などのご提示について

・月に一度、保険内容の確認のため、受付窓口に健康保険証各種受給者証の提示をお願いいたします。また、保険証が更新された場合は速やかにご提示願います。

◎ その他

● 駐車場

・一般の方以外は精算前に割引処理をさせていただきますので、受付窓口にお立ち寄りください。２０時までにご提示がない場合は、割引となりませんのでご注意ください。
・精算は事前精算機または出口精算機に駐車券を挿入後、お支払い願います。
・入院期間中の駐車はご遠慮ください。
・病院駐車場の他に提携駐車場として、タイムズ桑園がございます。場所は下記参照願います。

区分	料金
外来受診の方	２時間まで１００円 以降６０分／１００円　上限４００円
お見舞いの方	６０分／１００円
一般の方	６０分／４００円
入退院当日のご利用の方	無料

【提携駐車場】

● 診断書、証明書

・診断書、証明書等が必要な場合は、入院病棟の病棟受付へお申し出ください。なお、退院後は受付窓口にご相談ください。

● 相談窓口について

・制度関係の手続き、情報開示、今後の生活の不安等ソーシャルワーカーに相談があるときは、病棟スタッフか地域連携室にご相談ください。

場所　　：　１階受付窓口横、地域連携室
受付時間　：　月～金曜日　９：００～１７：００（土、日、祝休日休み）

◎ 個人情報保護について

● 個人情報の利用について

当院では、患者さんからご提供いただいた個人情報を「医療、リハビリ、ケア、保険業務など」の目的に特定して利用させていただきます。

＜病院施設内での利用＞

・当院が提供する医療、リハビリ、ケアサービス
・診療費請求等のための事務、会計
・カンファレンス、臨床研究
・病棟、病室の管理

＜他の事業者等への情報提供＞

・他の病院、診療所、薬局、介護保険事業所等との連携
・他の医療機関からの照会への回答
・診療にあたり外部の医師等の意見、助言を求める場合
・検体検査業務の委託、その他の業務委託
・家族等への病状説明

＜保険事務など＞

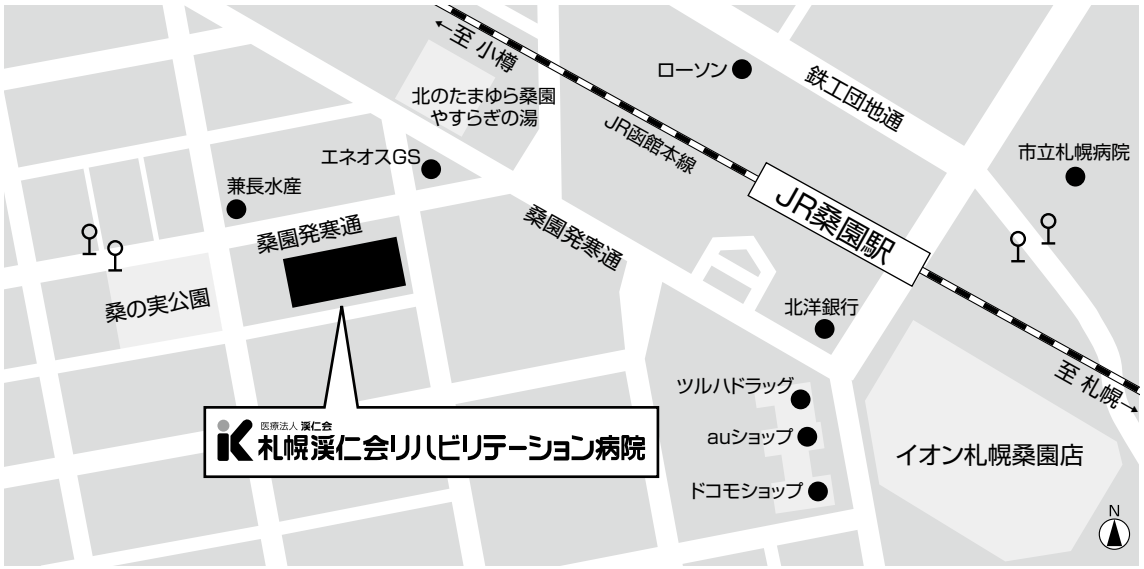
・支払い機関へのレセプト提出
・審査支払機関または保険者からの照会への回答
・専門団体、保険会社等への相談または届け出等

＜上記以外の利用＞

・法令等により、個人情報の開示を求められた場合
・研修生、学生への実習協力
・医療関連の研究会、学会への報告（個人情報を特定できない情報）

● 電話やメールによる問い合わせ

相手がどなたか確認ができない時や、患者さんからの同意がない場合は、電話での問い合わせに応じることができません。また、メールでのお問い合わせについても同様です。また、双方の同意が得られている場合でも、ご説明する内容は最小限とさせていただきます。



医療法人 **渓仁会**

札幌渓仁会リハビリテーション病院

〒060-0010 札幌市中央区北10 条西17 丁目36-13

＊入院に関するお問い合わせ＊

地域連携室 直通 TEL（011）688-5163

直通 FAX（011）688-5164

☎（011）640-7012（代）／FAX（011）640-5083

URL:http://www.keijinkai.com/keijinkai-reha/

E-mail:sapporo-k-reha@keijinkai.or.jp